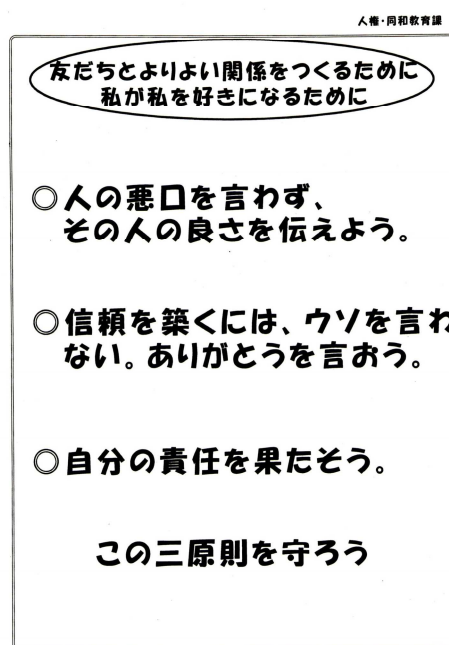


よりよい人間関係をつくるために

新しい学年が始まって、約1か月が経とうとしていきます。新しいクラスにだいぶ慣れたよと言う人もいれば、まだまだ不安でいっぱいだという人もいるかもしれませんね。

さて、今回の人権だよりは、「よりよい人間関係をつくるために」と題して、人と人との良好な関係を築くために必要なことを再確認してみたいと思います。

皆さんは、右の画像に見覚えがありますか？このプリントは人権・同和教育課によって制作され、新年度、新しいホームルームが始るときに担任の先生によって教室に掲示されている、「よりよい人間関係を築くための大切なメッセージ」です。1年中ホームルーム教室に掲示されているので、読んでみてください。



高校生の皆さんにとって、その高校生活を楽しく充実したものにできるかどうかは大切なことだと思います。そこに大きく関わってくるのが、クラスメイトや部活動の仲間との人間関係ではないでしょうか？これらの人間関係が上手くいくことで、日々の生活は充実し、勉強や部活動がより上手いき、成果が上がるのではないのでしょうか。

この掲示プリントは、そのような人間関係を上手いさせるためのメッセージです。多くの場合、人間関係にトラブルの起こる原因はこの三つのメッセージに関係しているのではないのでしょうか。一つ一つ、考えていきましょう。

○ 人の悪口を言わず、その人の良さを伝えよう。

人間関係のもつれは、人のことを何も考えず、無神経にとやかく言うことが原因であることが多いです。なので、人のことをとやかく言わない生き方を身につけましょう。

自分に自信のある人は、人のことをとやかく言いません。自信の無さが、自分にないものを持っている人や自分より立場がよくなった人に対しての嫉妬につながり、攻撃や嫌がらせにつながっていくのです。

人と比較して落ち込まないよう、今以上の自分を目指す。そうすると人としての輝きが生まれてきます。また、周囲の仲間を心からほめると、その相手は親近感を感じ、信頼や絆が生まれるのです。

本当の自信を身につけるにはどうすればいいでしょう？何を自信にすればよいか考えて

みてください。

自分の気持ちは話さなければ相手に伝わりません。しかし、自分の心をコントロールできるように、思ったことをすぐに口にせず、話し方、言い方に気をつければ、相手を傷つけることはなくなるのではないのでしょうか。

○ **信頼を築くには嘘を言わない。ありがとうを言おう。**

人の気を引くためや、自分を守るために、他の人にウソをつく場合があります。その場しのぎのウソは、それが分った時には信用をなくし、人は離れていってしまいます。

ウソをつくことやごまかしは、自分や周りの人を大切にすることにはなりません。

また、「ありがとう」という言葉には、人と人をつなぐ強い力があります。ちょっとしたことでも、「ありがとう」という言葉を使いましょう。「ありがとう」という言葉を多く使っていると、自分や相手の心に変化が出てきます。

○ **自分の責任を果たそう。**

人から信用されるには、自分の責任を果たすことがとても大事です。人間関係のトラブルや不満は、自分のやるべきことをしていないことから起きます。「これくらい自分がやらなくてもいいや」とか、「めんどくさいし、誰かがするだろう」と言った気持ちは甘えであり、周囲の人に迷惑をかけ人間関係にもひびが入ります。

自分がすべきことは、きちんと自分でする。掃除もきちんとする。他の人に何かを買いに行かせたり、面倒なことを押しつけれたりしない。また、約束を守ることも大事です。どうしても都合が悪くなった場合はきちんと連絡しましょう。

自分の立場をよくすることや自分を守るために、他の誰かを悪者にしたり、ウソをついたりすることで、友人との間に大きなミソをつくってしまうこともあるので十分に気をつけましょう。

どうでしたか？友達との人間関係に悩んでいる人、これまでに何度となく友達とトラブルになって、関係が悪くなった経験がある人は、改めてこの3つのメッセージについて考えてみてください。

他に、自分のマナー違反が誰かを不快にし、人間関係のトラブルになることもあります。その辺りも考えてみてください。

最後に今回の人権だよりの感想を記入してください。

年 組 番 氏名

--